

新規事業採択時評価結果(令和6年度新規事業化箇所)

担当課:道路局 国道・技術課  
担当課長名:高松 諭

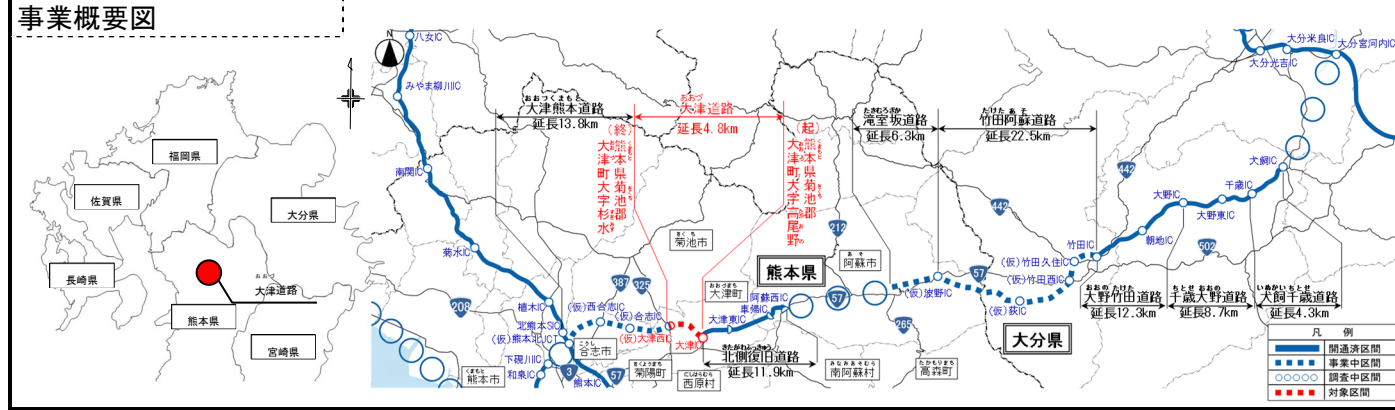
事業の概要

事業名	一般国道57号 大津道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 九州地方整備局
起終点	自:熊本県菊池郡大津町大字高尾野 至:熊本県菊池郡大津町大字杉水		延長	4.8km	

**事業概要**  
中九州横断道路は、大分県大分市を起点として、豊後大野市、竹田市、阿蘇市、菊池郡大津町、合志市、熊本県熊本市に至る高規格道路である。このうち、大津道路は、熊本県菊池郡大津町大字高尾野から菊池郡大津町大字杉水に至る延長約4.8kmの道路である。

**事業の目的、必要性**  
当該区間の整備により、安定した物流網の構築による日本の経済安全保障に資する半導体関連企業等の産業活動や第三次救急医療施設への速達性の向上による救急搬送などの救急医療活動、交通拠点からの高速性・定時性向上に伴う周遊性の高い道路ネットワークの構築による観光産業の活性化を支援するものである。

全体事業費 約340億円 計画交通量 約10,800台/日



関係する地方公共団体等の意見

**【熊本県知事】**  
新規事業採択時評価に係る「一般国道57号(中九州横断道路)大津道路」事業の予算化について、同意しますとともに、感謝申し上げます。  
中九州横断道路は、熊本・大分両県の県庁所在地を結ぶ路線であり、九州の横軸として熊本県のみならず九州全体の産業や地域の活性化、観光振興に資するとともに、地域間の物流効率化や大規模災害時における代替路機能を担う重要な路線です。  
沿線では世界的半導体企業であるTSMC社の関連工場が2月24日に開所し、年内の本格稼働に向け準備が進められ、さらに、第2工場の建設地が本県に決定しました。国家プロジェクトによるこの進出の波及効果を最大限に高め、半導体関連企業の集積を図ることにより、「新生シリコンアイランド九州」の実現を目指すとともに、本県が日本の「経済安全保障」の一翼を担うためにも、中九州横断道路の重要性は益々高まっています。加えて、本路線は、半導体関連企業の集積に伴い新たに発生する交通需要に対し、物流の効率化などの効果を発揮することが期待されます。  
本県といたしましては、事業が円滑に推進されるよう、地元自治体と連携した用地取得のための体制確保や埋蔵文化財調査、工事实施に伴う土砂の確保等に係る関係機関との調整について最大限協力いたします。また、付け替え道路(横断ボックス、跨道橋)の集約等、事業を進める上で必要となる関係者協議の支援並びに周辺住民の理解の醸成に取り組んで参ります。さらに、半導体関連産業の企業進出に伴う交通渋滞対策について、国、地元自治体と連携した取り組みを推進して参ります。  
「一般国道57号(中九州横断道路)大津道路」の令和6年度新規事業としての予算化はもとより、熊本都市圏の円滑な人流・物流機能を確保する観点から、大津熊本道路の供用に遅れることのないよう、大津熊本道路と一体不可分の熊本環状連絡道路の早期整備につきましても、特段のご配慮をお願いします。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件

- ・便益が費用を上回っている。
- ・計画段階評価手続き完了(平成29年6月)

事業評価結果

費用 便益 分析  (参考)	B/C	1.2(1.7)	EIRR	5.2%(7.2%)	総費用	6,662億円	総便益	8,266億円	基準年	令和5年
		1.8(2.5) [2%]				(事業費:6,122億円 維持管理費:508億円 更新費:32億円)	(走行時間短縮便益:7,164億円 走行経費減少便益:789億円 交通事故減少便益:312億円)			
		2.2(3.2) [1%]				感度分析	交通量変動 事業費変動 事業期間変動	B/C=1.2~1.3 (変動ケース:±10%) B/C=1.2~1.3 (変動ケース:±10%) B/C=1.2~1.3 (変動ケース:±20%)		

事業の影響	評価項目	評価	根拠
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎
事故対策		-	注目すべき影響はない。
歩行空間		-	注目すべき影響はない。
社会全体への影響	住民生活	◎	阿蘇地域から第三次救急医療施設までの搬送時間短縮により、地域で生活が営める環境を維持。 :阿蘇市役所~熊本赤十字病院の所要時間【現況】77分 ⇒【整備後】64分(約13分短縮)
	地域経済	◎	熊本駅等のゲートウェイから観光施設への移動時間の短縮により、周遊性の高い道路ネットワークを構築し、観光産業の活性化を支援。 :熊本駅~阿蘇市役所の所要時間【現況】102分 ⇒【整備後】89分(約13分短縮)
	災害	-	注目すべき影響はない。
	環境	-	注目すべき影響はない。
	地域社会	-	注目すべき影響はない。
事業実施環境		○	・計画段階評価手続き完了(平成29年6月) ・熊本県知事、中九州・地域高規格道路促進期成会、中九州・地域高規格道路推進期成会、中九州横断道路建設促進協議会、大津町長から早期事業化の要望を受けている。

採択の理由

費用便益比が1.2と便益が費用を上回っており、また、計画段階評価の手続きを完了しており、事業採択の前提条件が確認できる。  
また、当該区間の整備により、安定した物流網の構築による日本の経済安全保障に資する半導体関連企業等の産業活動や第三次救急医療施設への速達性の向上による救急搬送などの救急医療活動、交通拠点からの高速性・定時性向上に伴う周遊性の高い道路ネットワークの構築による観光産業の活性化を支援するなど、事業の必要性・効果は高いと判断される。  
以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。  
※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。( )内は社会的割引率の値)  
※B/Cの値は、大分市~熊本市を対象とした場合、( )書きの値は事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果。

# 新規事業採択時評価結果(令和6年度新規事業化箇所)

## 事業評価結果(防災機能)

事業の必要性	
<p>当該区間の整備により、安定した物流網の構築による日本の経済安全保障に資する半導体関連企業等の産業活動や第三次救急医療施設への速達性の向上による救急搬送などの救急医療活動、交通拠点からの高速性・定時性向上に伴う周遊性の高い道路ネットワークの構築による観光産業の活性化を支援するものである。</p>	
評価項目	地域の課題
救助活動等	<ul style="list-style-type: none"> <li>熊本県は、南海トラフ地震時の政府現地対策本部に選定されており、熊本市周辺に位置する防災拠点と九州全域との速達性が重要であるが、災害時には、国道57号の交通集中により、迅速な救援活動、物資輸送に支障が生じる恐れがある。</li> </ul>
住民生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>第三次救急医療施設が立地していない阿蘇地域では、搬送件数の約3割が管外搬送で、そのうち約5割が熊本市内の第三次救急医療施設へ搬送されている。</li> <li>主要アクセスを担う国道57号の交通渋滞に巻き込まれ、搬送に時間がかかっており、速達性の確保が課題。</li> </ul>
地域経済 地域社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>中九州横断道路沿線には、半導体関連企業等が立地しており、今後の更なる企業進出も予定。</li> <li>合志市、菊陽町、大津町の半導体関連企業等では、製品・部品等を熊本港や九州縦貫自動車道等から全国へ輸送しているが、主要アクセスを担う国道57号の交通渋滞により約3割の時間ロスが生じており、円滑な物流交通や生産活動等を阻害。</li> </ul>
<p>第2期熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略(R3.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>南海トラフ地震が発生した際など、本県が九州における広域防災拠点としての役割を担えるよう、道路などインフラの整備や、他県への広域的な応援機能の充実を図るとともに、平時からの国や他都道府県、企業、民間団体等との連携を強化します。</li> <li>九州圏内のリダンダンシー確保に向けて、規格の高い幹線道路である九州中央自動車道、中九州横断道路、熊本天草幹線道路、南九州西回り自動車道、有明海沿岸道路の整備を促進します。</li> </ul> <p>熊本県国土強靱化地域計画(R3.12)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大規模災害時、道路の寸断や渋滞の発生により救助・救急、医療活動のためのエネルギー供給が停止するおそれがあるため、本県と九州各県を結ぶ幹線道路ネットワークの充実・強化、県内各地域を結ぶ道路網の確保が必要である。</li> <li>九州の縦軸・横軸の多重性(リダンダンシー)確保と循環型高速ネットワークのミッシングリンク(高規格道路網等において未整備により途中で途切れている区間)解消を図るため、中九州横断道路、九州中央自動車道、南九州西回り自動車道、有明海沿岸道路、熊本 天草幹線道路等の幹線道路ネットワークの整備を進める。</li> </ul> <p>熊本県新広域交通計画(R2.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産業活動を支援するための物流拠点と港湾や空港、高速道路IC等の交通拠点間のアクセス機能の強化。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○主な物流拠点と熊本港、八代港、三角港を効率的に結ぶ道路</li> <li>○主な物流拠点と熊本空港を効率的に結ぶ道路</li> <li>○主な物流拠点と高速道路 IC を効率的に結ぶ道路</li> </ul> </li> </ul>	

事業の有効性	
<ul style="list-style-type: none"> <li>当該事業の実施により、脆弱度の評価がCランクのままであるものの、脆弱度の値が改善するとともに、災害時の防災機能が強化される。</li> <li>また、本事業により、安定した物流網の構築による日本の経済安全保障に資する半導体関連企業等の産業活動や第三次救急医療施設への速達性の向上による救急搬送などの救急医療活動、交通拠点からの高速性・定時性向上に伴う周遊性の高い道路ネットワークの構築による観光産業の活性化を支援するなど、有効性の高い事業と評価する。</li> </ul>	

道路ネットワークの 防災機能	主な区間		改善 ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱 度の変化 量	改善度		評価
	高遊原 分屯地	道の駅 波野		整備前	整備後		通常時	災害時	
					28 (1)	0.67 [C] 1.00 [D]	0.56 [C] 1.00 [D]	▲306.58 (▲0.00)	0.17 (0.01)

事業の効率性	
<ul style="list-style-type: none"> <li>計画段階評価手続き完了(H29.6)</li> </ul>	

※道路ネットワークの防災機能の値は、大分市～熊本市を対象とした場合、()書きの値は事業化区間を対象とした場合の防災機能評価結果。